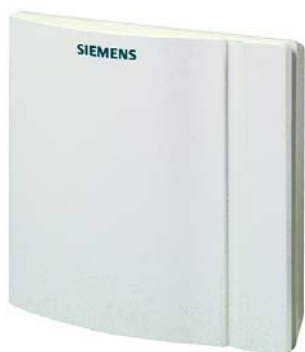




室内型温度調節器

RAA11

暖房または冷房用、設定いたずら防止用（設定部内蔵）

- 2位置制御
- AC 24...250 V 回路に使用可能

用途

RAA11 温度調節器は暖房または冷房用の温度調節器で、特に設定変更によるいたずら防止が必要な場所に適した調節器です。

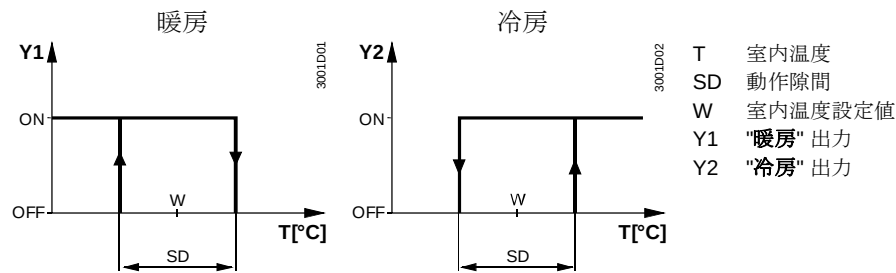
主な使用場所：

- 学校
- 公共施設
- 倉庫
- メンテナンスルーム

機能

RAA11 温度調節器は、暖房出力と冷房出力を別々の端子から出力しますが、必ずどちらか一つだけ使用します（暖房または冷房）。設定値に対して室内温度が下がれば暖房出力が ON となり、温度が上がれば冷房出力が ON となります。

制御動作



機器組合せ (例)

アクチュエーター	型式	データシート
小型弁用 on/off モーター式 アクチュエーター	SFA21...	4863
小型弁用サーマルアクチュエーター (2.5mm)	STP21...	4878

アクセサリー

名称、説明	型式
サーモプレート 120 x 120 mm (裏配線用)	ARG70
サーモプレート 96 x 120 mm (裏配線用)	ARG70.1
サーモプレート 112x130 mm (壁表面配線用)	ARG70.2

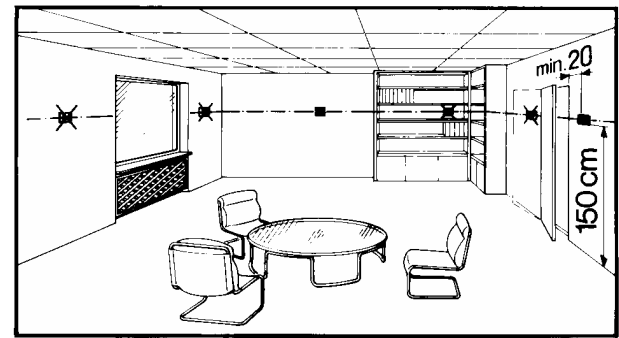
技術的デザイン

- RAA11 主な特長：
- ON/OFF 制御
 - ガス封入ダイアフラム採用
 - 設定部内蔵

注意

取付け、調整

室内空気の自然循環が妨げられない場所で輻射の影響の無い壁面に取付けて下さい。
外乱による影響が考えられる場所、例えば ドアの近く、窓の近く、ヒーターの近くなどへの取付けは、避けて下さい。
取付け高さは床上 1.5 m 程度として下さい。



電気配管内または壁の裏面から温度の影響が考えられる場合、別途シール等を考慮して下さい。



AC 100/200 V

本体のカバーは決められた人以外は開けないで下さい。感電の恐れがあります。
カバーを開ける前に必ず電源を切して下さい。

本体の取付けは、先ずベースを取付けその上から調節器本体を取付け配線します。配線が終わったらカバーを取付けます。別途「取扱説明書」参照。

調節器は平らな壁面へ取付けて下さい。

電気配線に関しては技術基準その他の規定に基づいて有資格者が行って下さい。

サーマルアクチュエーターを使用する場合は予めそれらを全開の位置にして置いて下さい。

メンテナンス 機械的デザイン

RAA11 温度調節器はメンテナンスフリーです。

ダイヤフラムに封入されているガスは環境に優しいガスを使用しております。

本体ハウジングにはプラスチックを使用しております。

オーダー (例)

型式	名称	数
RAA11	室内型温度調節器	3

型式、名称、数量をご指示下さい。

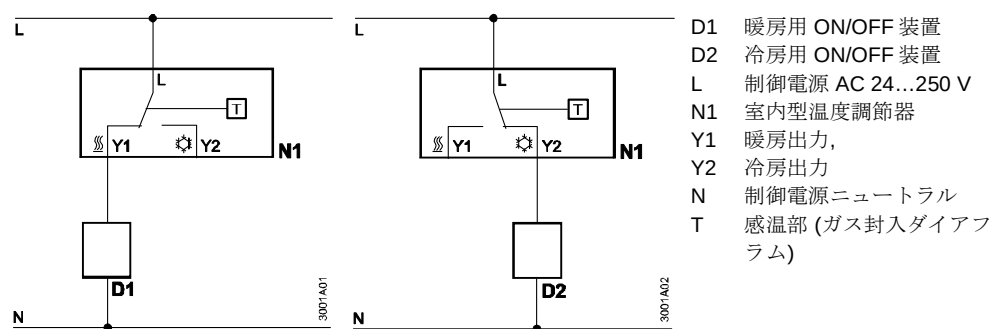
技術データ

使用回路電源	ON/OFF 接点	
	使用電圧	AC 24...250 V
	接点容量	0.2...6(2.5) A
	電源周波数	50 / 60 Hz
	配線端子	2 x 1.5 mm ² (0.5 mm ² 以上)
運転データ	動作隙間 SD	≤1K
	室内温度設定	8...30 °C
周囲条件	運転中	IEC 721-3-3
	気象条件	クラス 3K5
	温度	0...+50 °C
	湿度	<95 % r.h.
	汚染度	ノーマル, EN 60730-1
	運送中 / 保管中	IEC 721-3-2
	気象条件	クラス 2K3/1K3
	温度	-20...+50 °C
	湿度	<95 % r.h.
	機械的条件	クラス 2M2
適合規格	電磁両立性	
	エミッション (住居, ビジネス及び商用)	EN55014
	CE 適合	
	EMC 指令	2004/108/EC
	低電圧指令	2006/95/EC
	C -C チェック適合	
	オーストラリア EMC フレームワーク	CISPR 14-1: 2009
	電波障害エミッション規定	
	環境両立性	
	環境宣言書	2002/95/EC (RoHS 対応)
	安全規格	II, EN 60730-1
	保護等級	IP30, EN 60529
	質量	0.14 kg
	色	白, NCS S 0502-G (RAL 9003)

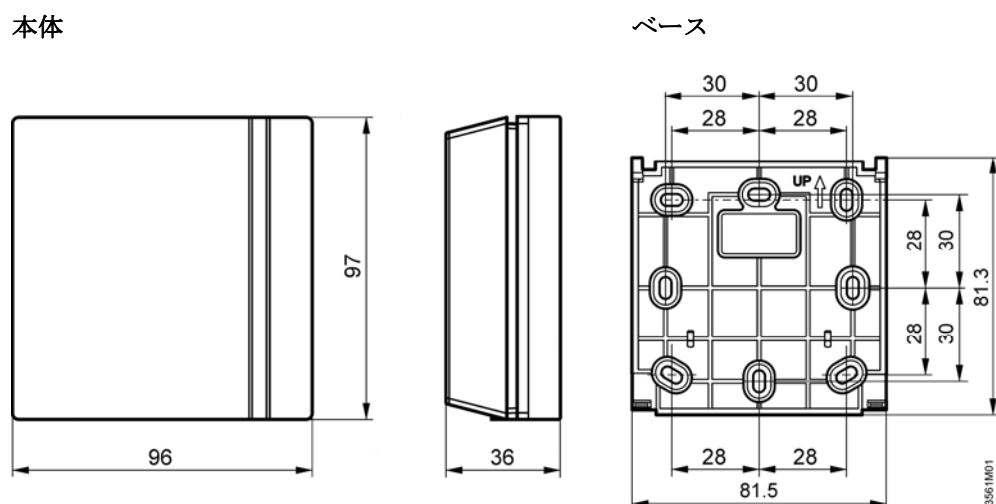
廃棄



本体は電気部品を含み一般ごみと一緒に廃棄できません。
地域の条例に基づき産業廃棄物として正しく廃棄して下さい。



寸法 (mm)



注記

暖房動作：

負荷電流 3A 以上で使用する場合、調節器の内部発熱の影響により計測誤差が生じて制御ポイントがずれる原因となります。

冷房動作：

負荷電流 **1A** 以上で使用する場合、調節器の内部発熱の影響により計測誤差が生じて制御ポイントがずれる原因となります。

上記の計測誤差が考えられる場合は補助リレーの設置を考慮して下さい。

(注) 記載内容はお断りなく変更する場合があります。